



六月(小) 水無月 牛宿

六月五日芒種の節より
月命丙午四緑木星の月
暗剣殺東南方

旧 五月小
閏五月小

日	曜日	干支	九星	行 事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出	月出	満潮	干潮
1日	木	つちのひびこ	五黄	相模川他神社祭、 相模川他神社祭、 相模川他神社祭、 旧五月小	七	大安	みつ	井	大みさう	4.27	11.04	8.56	3.42
2日	金	かえさる	六白	横濱開港記念日 庚申	八	赤口	たいら	鬼	大みさう	4.26	12.04	22.58	3.42
3日	土	かのとり	七赤	金沢加賀百万石まつり(2日~4日)	九	先勝	さん	柳	大みさう	4.26	13.02	23.56	17.11
4日	日	みづのえいぬ	八白	菌と口の健康週間、 危険物安全週間(10日迄)、 伝教大師忌	十	友引	とる	星	ぶく日	4.26	13.59	14.03	18.24
5日	月	みづのと	九紫	芒種二〇時三十分、世界環境デー、 熱田神社祭、 宇治真神社祭、鶴岡大山火祭、 八せん終り	十一	先負	とる	張	ちう日	4.25	14.55	15.05	20.24
6日	火	きのえ	ね九紫	九星陰遁始め、 甲子	十二	佛滅	やぶる	翼	●	4.25	15.50	15.51	21.13
7日	水	きのとう	八白	東京日枝神社山王祭(17日迄)、 不成就日	十三	大安	あやぶ	軫	神よし	4.25	16.44	16.30	21.56
8日	木	ひのえ	とら七赤	三隣亡	十四	赤口	なる	角	●	4.25	17.38	17.05	22.35
9日	金	ひのと	う六白	○望二二時一〇分	十五	先勝	おさん	亢	天おん	4.25	18.31	17.39	23.12
10日	土	きのえ	いぬ八白	時の記念日、 チャグチャグ馬コ、 東京鳥越神社例大祭(11日迄)	十六	友引	ひらく	氏	天おん	4.25	18.56	18.12	23.47
11日	日	つちのと	み四緑	入梅二時〇六分、 己巳、一粒万倍日	十七	先負	とづ	房	十し	4.25	19.22	18.46	12.00
12日	月	かのえ	う三碧	大つち、 一粒万倍日	十八	佛滅	たつ	心	大みさう	4.25	20.11	19.20	12.32
13日	火	かのひびこ	二黒		十九	大安	のぞく	尾	大みさう	4.25	20.57	19.20	13.04
14日	水	みづのえさる	一白	大阪住吉大社御田植神事	廿	赤口	みつ	箕	神よし	4.25	21.39	19.57	13.38

春から夏への季節の変わり目がこの月で、太平洋側の高気圧が次第に発達し、日本列島に沿う気圧の谷が通ったり、その谷間に低気圧がたたり、不連続線が生じてある。十日前後には「入梅」がある。これは太陽が黄経八十度に達する刻をいう。ちなみに入梅とか梅雨の「梅」は、ちょうどこのころ梅の実が熟することから出ている。

高温多湿であるが、気圧の谷に入ったとき、妙に底冷えのすることがある。食中毒が多発するものもこの月である。細菌の繁殖に最適な気候であり、寒暖に差がある季節だからということがいえる。たまの晴れ間を十分活用し、風通し、家具、食器類などの手入れをし、とくに不衛生になりがちな梅雨どきを無事に過ごすよう心がけよう。

【冠】この月に限ってと行う事は別にないので、出

日	曜日	干支	九星	行 事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出	月出	満潮	干潮
15日	木	みづのと	九紫	北海道神宮祭、 弘法大師誕生会、 不成就日	廿一	先勝	たいら	斗	神よし	4.25	22.56	22.06	14.16
16日	金	きのえ	いぬ八白	柏崎えんま市	廿二	友引	さん	牛		4.25	23.31	22.06	15.00
17日	土	きのと	七赤	●下弦二〇時三十分、 奈良率川百合祭、 伊勢神宮月次祭、 興教大師誕生会	廿三	先負	とる	女	ちう日	4.25	23.59	22.58	15.58
18日	日	ひのえ	ね六白	父の日、 海外移住の日	廿四	佛滅	やぶる	虚	●	4.25	0.06	23.55	17.15
19日	月	ひのと	う五黄	桜桃忌	廿五	大安	あやぶ	危	大みさう	4.25	1.13	12.37	18.38
20日	火	つちのと	四緑	京都鞍馬寺竹伐り会式、 小つち、 三隣亡	廿六	赤口	なる	室	母倉	4.25	1.18	14.08	19.50
21日	水	つちのとう	三碧	夏至一三時二四分	廿七	先勝	おさん	壁	百事よし	4.25	1.59	15.19	20.52
22日	木	かえ	たつ二黒		廿八	友引	ひらく	奎	天おん	4.26	2.43	16.16	21.47
23日	金	かのと	み一白	沖繩慰霊の日、 オリンピッククデー、 一粒万倍日、 不成就日	廿九	先負	とづ	婁	十し	4.26	3.33	17.06	22.38
24日	土	みづのえ	九紫	●朔一時三十分、 東京芝罘千日詣り、 清正公忌、 一粒万倍日、 旧閏五月小	朔	大安	たつ	胃	大みさう	4.26	4.30	17.52	23.26
25日	日	みづのひびこ	八白		二	赤口	のぞく	昴	天おん	4.26	5.32	18.37	—
26日	月	きのえ	七赤	国連憲章調印記念日、 十方ぐれ入り	三	先勝	みつ	畢	神よし	4.27	6.38	19.20	12.32
27日	火	きのと	六白		四	友引	たいら	觜	神よし	4.27	7.44	20.00	—
28日	水	ひのえ	いぬ五黄	貿易記念日、 不成就日	五	先負	さん	参	月とく	4.27	8.50	20.38	—
29日	木	ひのと	る四緑		六	佛滅	とる	井	大みさう	4.28	9.53	21.15	—
30日	金	つちのえ	ね三碧	大はらい、 夏越祭	七	大安	やぶる	鬼	●	4.28	10.58	21.53	—

産より初誕生日まで、の行事を整理してみよう。

この世に生をうけた新生児は、産声(うぶごえ)をあげ、産湯につかり、産衣(うぶぎ)につまされる。親戚縁者に無事出産を通知したり、お祝いに餅をついたりする。

生まれて三日目は「三つ目祝い」、五日目を「五夜目祝い」といって祝宴を張るところがある。七日目は「お七夜」といって新生児の名前を披露する儀式がある。出生届けは、生まれた日から十四日以内に市区町村の役所に提出する。

生後三十日前後(土地により多少違う)には、お宮詣りといって氏神様の所にもしてお祓(はらい)をしてもらう。百二十日前後の「お食初め」を終えて、一年目の誕生祝いになるのである。

【祭】第三日曜日は「父の日」、五月の「母の日」と同様、父の働きあつての自分と思えば、父へも感謝をささげるべきであろう。

二十一日前後は「夏至」。文字からいえば夏の真つ盛り、北半球では昼間が最も長く、夜が短い日である。